

イチゴ



ファイトシリーズで

収穫後期まで充実した実をつける！

イチゴのトラブル

こんな症状にお困りではありませんか？！

『チップバーン』『軟弱果』

本来は根から吸収され、水の流れに乗って体内を移動する「カルシウム」。根が傷むと新芽や実に欠乏症が顕著に現れます。



『成り疲れ』

活きた根の先では、花や芽を作る大切なホルモンが作られています。毛細根が減少すると、これらの物質が減少し、花を付ける力が著しく低下します。



『微量元素欠乏』

土壌中のリン酸や微量元素は、活きた根の先からしか吸収されません。過湿や肥料やけなどで根の先を傷めてしまうと、微量元素の吸い上げも低下します。



トラブルの原因

原因は、イチゴ独特の『傷みやすい根』にあります。



Q なぜ根が傷むの？

A 根に養分が届かなくなるからです。

イチゴの根は、元来「乾燥」や「過湿」に弱く、非常にデリケートなものです。そのうえ、収穫期になると、葉で作られた同化養分のほとんどが果実に奪われてしまい、根は栄養失調の状態になってしまいます。他の作物に比べて、「成り疲れ」や「カルシウム欠乏」が出やすいのも、この傷みやすいイチゴの根の特性からくるものです。

収穫開始後

光合成で作られる糖分がほとんど根に供給されなくなります

根が弱り、カルシウムなどの吸収が困難に

チップバーン、軟弱果、成り疲れの発生

ファイトシリーズで植物を中から活性化

もっともっと根や新芽は変えられます！

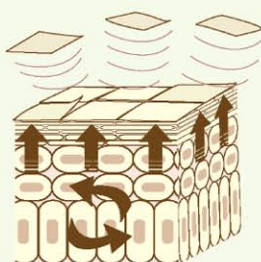
根傷み
樹勢低下
対策に

1. どんどん新しい細胞が生まれ変わります

ファイト・オーツ

葉を刺激し、
新しい細胞を増やす

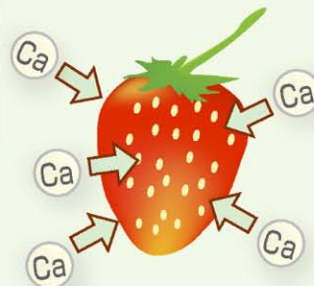
ファイト・メット

根を刺激し、
新しい根を増やす

新芽・花芽の充実

2. さらにカルシウムを葉面散布で補給

ファイト・カル

カルシウムで、
細胞をひきしめるCa カルシウムは
大切な引き締め成分！

軟弱果の防止

ファイトシリーズで張りのある品質の良いイチゴに



朝に葉水を多く上げ、花芽の勢いも強い



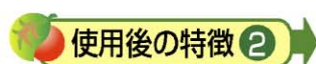
葉の周りの白い点はカルシウム根が活発に動いている証拠



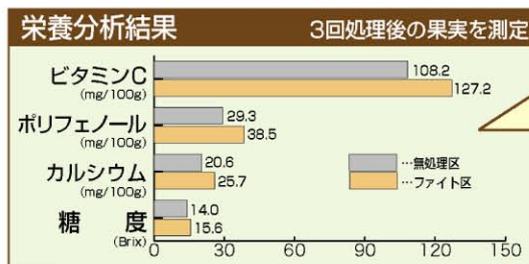
上に向かって勢いよく咲く花



受光角度よく立った葉



植物が健康 ➡ 果実の栄養価が向上する



全ての項目において、11~31%の増加が認められた。

※果肉部先端から2/3部分を測定

育苗期

親株定植～本圃定植



親株の充実とランナーの発育促進

メット 灌水で根を刺激

苗揃いを良くする

毛細根の充実

葉中の未消化窒素の分解を促進



こんな時にオススメ!

花芽分化を促進したい

エレマックス 0-28-26

【1000倍】

葉面散布

(7~10日おきに2回)

●花芽分化の条件は主に3つ。

低温にあてる 水分を切る チッ素を切る

本来イチゴは春に花が咲く作物なので、冬の条件にしてあげると花芽を準備します。エレマックスは効率良くリン酸・カリが補給できるので、チッ素同化を促し、チッ素が早く消化されるため、花芽分化をすすめます。



こんな時にオススメ!

樹勢が弱い

根張りが悪い

ファイト・オーツ

【1000倍】

ファイト・カル

【1000倍】

混用散布

(10日おきに2回)

10a分の株に対し

【オーツ】【カル】1000倍混合液を20~30ℓを目安に散布

親株定植

1 親株定植後



ファイト・メット

【2000倍】

株元灌水
約10日おきに2回

親株100株当たり

水8ℓに
4g

仮植・移植

2 仮植床に移植



ファイト・メット

【3000倍】

散布灌水
移植時に

仮植床100坪に

水150ℓに
50g

または

ポット移植



ファイト・メット

【3000倍】

株元灌水
鉢上げ時に

1ポット当たり

3000倍液を
30~50cc

ファイト・メット ◆キャップ1杯はおおよそ10g

本圃期1

定植～マルチ掛け～1番果収穫まで



ポイント②

収穫開始までにしっかり根をつくる

オーツ

カル

散布で葉を刺激

メット

灌水で根を刺激

エレマックス

散布でリン酸吸収

活着促進

毛細根の充実

初期の過繁茂対策

1

定植～
マルチ掛けまで

ファイト・オーツ ファイト・カル

散布液量が変わる場合は
希釈倍率1000倍を守る



ファイト・オーツ

【1000倍】

ファイト・カル

【1000倍】

混用散布

(10日おきに3回)

10a当たり

希釈液で100ℓが目安



2

マルチ後

ファイト・メット

灌水量が異なる場合は
10a当たり150gを守る



ファイト・メット

液肥混入の要領で

灌水

(10～14日おきに3、4回)

10a当たり

150g使用

エレマックス 0-28-26

【500～1000倍】

葉面散布

(10日おきに2回)



根圏の動きが鈍くなる1月からに備える



この時期に根をしっかり充実させ、葉の周りに根から吸収した白いカルシウムが残るくらいが理想です。

本圃期2

収穫開始後



ポイント③

気温上昇による軟弱果を防ぐ

オーツ

カル

散布で葉を刺激

2月頃からの気温上昇による
軟弱果対策

効果的

チップバーン防止

転流促進＝根の軟弱化を緩和

収穫物の栄養価アップ



3

収穫開始後

ファイト・オーツ ファイト・カル

散布液量が変わる場合は
希釈倍率1000倍を守る



ファイト・オーツ

【1000倍】

ファイト・カル

【1000倍】

混用散布

(10～14日おきに)

10a当たり

希釈液で100ℓが目安



こんな時にオススメ！

病気などに対する
抵抗力アップに



ファイト・オーツ

【500倍】

ファイト・カル

【1000倍】

混用葉面散布

使用薬剤との混用

